



PRになりすすけれど、瀬戸内海は公害で大分汚染されていますね。今や、天草が魚やエビの養殖基地としては一番になりました。また、伊勢の真珠が殆んど天草に移ってしまってますね、真珠養殖でも天草が全国で一番になりました。

兼高 そうですか。そうしますと、外人が天草に真珠を見にきました時に、特になにか見せる物がありますか、なかったら、ぜひお作りになるといいですね。

### 食べ物あれこれ

知事 この車エビにしましてもね、東京、大阪の天ぶら屋の材料としては、恐らく天草ものが一番じゃないでしょうが、毎日生きたまま空輸しています。

天草の魚介類、とりわけ、生うに、アワビといったものはおいしいですよ。

兼高 自然の物がおいしければそのままの方がいいですね。

知事 米もおいしいですよ。肥後米として、現在、福岡、長崎方面で流通していますが、評判はいいですね。最近で自慢

できますのは柑橘類です。みかん、甘夏みかん、これは質のいいのがとれるようになりましなね。

それから、プリンスメロン、早出しスイカ、これなど日本一ですよ。その他、タタミ表の原料のイ草、煙草、アサリ貝、ノリなど日本一も大分あります。

食べ物の話ができましたついでに酒の話ですが、兼高さんは、もっぱらワイン専門ですか。

兼高 世間様は、私を煙草は吸うし、ウイスキーは飲むと思っていらっしゃるようですけれども、両方ともやらないんです。ワインの取材をよくやるもんですから、ワインばかり飲んでるみたいですが、日本食の時は、日本酒も飲んでいますよ。肉料理をいただく時にはワインですけれどね。今夜のお酒はおいしいですね。

知事 熊本は酒どころですよ。他県に出しています。肉の話ですが、熊本では「肥後の赤牛」というのを広大な阿蘇高原で飼育しているんです。黒い但馬牛と違って、名のおり赤い肉牛なんです。肉がやわらかくてね、うまいですよ。

兼高 そうですか、阿蘇の高原で牛を飼っているのだったら知事さんはビイファローという牛をご存知ですか。牛とバッファローの混血です。これを導入されませんか、短期間に大きくなりますし、肉がやわらかくて、脂が少ないんです。

知事 熊本は酒どころですよ。他県に出しています。肉の話ですが、熊本では「肥後の赤牛」というのを広大な阿蘇高原で飼育しているんです。黒い但馬牛と違って、名のおり赤い肉牛なんです。肉がやわらかくてね、うまいですよ。

### 私の好きな国

知事 世界中お歩きになって、どこが一番よろしいですか。

兼高 難しい質問ですね、いいといっても、いろいろありましてね。食べ物がいいとか、住むのいいとか、気候がいいとかあります。私の意見ですと、健康によく、言葉が通じて、物価が安いということを考えますとね、アメリカになっちゃうんです。

知事 そうじゃなくて、観光客としてです。

兼高 そりゃ、また難しく、見たいものによりますからね、各国いろんなものがありますからね。たとえば、美術とか音楽を好まれると文化国に行かねばなりませんしね、それから若い人たちの中には発展途上国を好まれる方もいらっしゃるんですよ。

知事 私は大して外国へ行っているほうじゃないと思いますが、それでも三十カ国ほど行っています。私の好みからすれば、ヨーロッパとかスペイン、ポルトガル、中米ではメキシコあたりが好きですね。

兼高 似かよっている所ですね、スペインの何がいいんですか。

知事 古さを感じますね。メキシコにしてもそうです。これらの国は大して資源もなければ、外貨獲得の手段もないんですね、だから観光を国是としているんです。

知っていることが四つあります。第一には、自然の豊かさを守ろうということですね。自然の景観だけなしに自然の環境というものを大事にしようということですね。

その次には、古い文化と伝統を大事にしよう、そしてことさら優れた文化や芸能だけということではなしに、それぞれ地方に伝わる四季折り折りの、昔ながらの行事を掘り起こしたい。伝統工芸をもう一度見直したいということが第二番目です。

三番目には、農業、漁業、林業を産業の基礎にしたい。工場を持ってきて環境を破壊したり、公害をひき起すことはやめようというわけです。

兼高 たとえ貧しくとも、心豊かに住める地域社会をと、訴えられているわけですね。

知事 そうです。四番目には、心のつながりというが、地域住民の連帯感を醸成しようというわけです。東京砂漠といわれるような地域と対照的な地域社会を作ろうと言っています。

兼高 日本では急激に伝統的なものがなくなりましたねえ。一時代、見る方向が違っていましたからね。古いものをなるべく忘れて、新しいものを若い人たちに教えましたね。伝統的なものを無くすること、これは簡単です。けれども、これを維持していくことは大変なことですよ。ここまですれば、もう国なり県

す。そこにひかれるんです。

兼高 日本の方は、大変にスペインが大好きです。それから、ヨーロッパではイタリヤ、フランスの順です。

### 素材を生かした観光を

知事 私の県も観光的な素材はたくさんあると思うんですが、いっこうにPRがへたでいきません。私が観光を考える時、よく分らないのが、例えば熊本あたりは、ローカル色豊かな古い文化という素材が、あちこちにあるわけですが、どうなんでしょう。これからの人はそういった素材だけでは満足しないでしょうね。古い物を見たり、昔ながらの素朴なふんい気に接しながらも、やっぱり、夜は冷暖房の近代的なホテルに泊まらねばいかなのしょうね。

兼高 日本の方は、特にそうですね。

知事 そのへんの調和が非常に難しいと思うんです。

兼高 東南アジアに行く日本の観光客の中には、ホテルやバスに冷暖房の設備がないとカナワナイという人がいます。ぜひ沢ですわね。戦争中ご苦労なされた年輩の方がそういうことをおっしゃいます。かえって、アメリカの方ががまんをしますよ。それから、外国にいらっしゃる日本人は、まず買物です。何はさておいてもね、国内でも同じですね。

知事 兼高さん人形を集めるのが趣味と



聞いていますが。

兼高 二百以上あると思いますけど、別に趣味ということもありません。古い物ばかり集めています。今は機械で作るため人形の顔が画一化されてきていますので集めておりません。昔は手づくりの味というものがあつたんです。

知事 国内のホテルの売店のおみやげにしても、全国みんな同じですね。それでも皆んな買うんだから、旅行すると特別な心理になるんでしょうね。

兼高 フィリップピンはホテルの中ではなくて、近くに大きなショッピング・センターを作っていますよ。

知事 熊本も郷土の物産を集めたショッピング・センターが必要でしょうね。

私が思うのは、食事をしながら郷土芸能を気楽に見られるような所が欲しいですね。たとえば、大衆レストランで「おてもやん」「五木の子守り唄」の踊りが見られたり、唄が聞けたりする所です。

兼高 浅草にそっくりした店があつて、外人がよく行きますよ。親子丼やスキヤキなどもあり、安くて郷土芸能が見られま

す。観光ルートの中に組み入れてあるんです。

知事 私はこの頃特に思うんですが、観光は大事ですね。最近の日本人の考え方は、レジャーを楽しむために仕事をするという考えですね。こうなってくると、これからはレジャーとか観光産業とかいうものは無視できません。幸い、少しづつではありますけれども、観光的な要素、施設面も整いつつあります。しかし、今でもネックになっていくのは交通問題です。天草にしても橋まではいけど、その先がね。という苦情もあります。キリンタンの遺跡がどこに行ったら見られるか分からないといった問題もあります。もっと組織的に整備しなければいけません。

兼高 天草の教会を結婚式用に宣伝したいかがですか、ホテルとタイアップして。若い人たちは記念を作りたいと考えています。インド、フィリップピン、ハワイではホテルが教会と組んで若い人たちにひきつけていますよ。

### 望まれるマナーの向上

知事 熊本県は、現在「新しいふるさとづくり運動」というのを展開しているんです。これは、県民の皆さんと一体となって、温い心のふれ合、活力に満ちた地域社会をつくらうというものです。

私がふるさとづくりの中で柱として言

なりが伝統工芸を、できる人とともにまもって、次の世代に引継いでいくことが必要ですね。

知事 私はね、伝統を大事にしているという気運はだんだん出てきていると思いますよ。必ず変わってきますよ。

兼高 街をきれいにしようということではシンガポールがとて成功しています。それは、ものすごい罰金をとるんです。紙でも煙草でも捨てたりしたら五百ドルとか、すごいんですよ。シンガポールドルですから七万五千円ぐらい。

知事 熊本でも罰金とればいいじゃないか、という話もあるんですがね、日本ではなかなかねえ。

兼高 日本ではどうも、というのがいけません。少し甘やかすすぎだと思えますよ。自由というのは、自分の気持ちの中にあるのはいいけれど、行動にあまり自由があるというのは、他の人に不自由ですからね。

知事 いや、全くその通りです。住民のマナーの問題ですね。郷土づくりは自分たちの手というふうに住民の認識が変わってくれば、マナーも自然とよくなると思えますよ。

今日は、いろいろとお話しいただきまして大変に参考になりました。これを縁に今後いろいろとお気付きの点でもございましたら、ご提言などいただければ幸いです。